

父 コンデュイット  
牡 鹿毛 2011年5月9日生まれ ビッグレッドファーム



\*コンデュイット  
Conduit (IRE)  
栗毛 2005年

ホクトスプライトの11  
牡 鹿毛 2011.5.9

ホクトスプライト  
鹿毛 1996年

|  |                              |  |
|--|------------------------------|--|
| ダラカニ<br>Dalakhani (IRE)<br>芦毛 2000年    | ダルシャーン<br>Darshaan           | Shirley Heights<br>Delsy               |
| ウェル ヘッド<br>Well Head (IRE)<br>鹿毛 1989年 | サドラーズ ウェルズ<br>Sadler's Wells | <i>Northern Dancer</i><br>Fairy Bridge |
| *トニービン<br>Tony Bin (IRE)<br>鹿毛 1983年   | *カンバラ<br>Kampala             | Kalamoun<br>State Pension              |
| ホクトビーナス<br>芦毛 1986年                    | セヴァーンブリッジ<br>Severn Bridge   | Hornbeam<br>Priddy Fair                |
|  | マルゼンスキー                      | Nijinsky<br>*シル                        |
|  | ホクトヒショウ                      | *ボールドリック<br>*ギャラントグロウ                  |

Northern Dancer 4S×5D

### 母系

母ホクトスプライトは3勝、房総特別(芝1600m)。本馬は第7仔。産駒マイネルグート(07 牡 鹿 \*ロージズインメイ)4勝、<sup>現</sup>コスモユリア(08 牝 黒鹿 \*ロージズインメイ)佐賀公4勝、<sup>現</sup>祖母ホクトビーナスは2勝、うぐいす賞、桜花賞-JPN1 2着。産駒  
**ホクトペンダント**: 2勝、うぐいす賞、4歳牝馬特別(西-JPN2 2着、フローラS-OP 2着、桜花賞-JPN1 5着。産駒  
**ビーナスライン**: 6勝、函館スプリントS-JPN3、羊ヶ丘特別、下北半島特別、シルクロードS-G3 3着、キーンランドC-JPN3 3着、高松宮記念-G1 4着  
**チョウカイファイト**: 東海公5勝、中央4勝、福島民報杯-OP、ノベンパーS、テレビ山梨杯、中日新聞杯-G3 3着、<sup>現</sup>ベルベットロード: 3勝、オリエンタル賞、セントポーリア賞、<sup>現</sup>  
 ファントムロード: 2勝、五泉特別、<sup>現</sup>  
 レッダンゴールド: 入着。産駒  
**ユメノオーラ**: 3勝、エクセル博多開設記念、雪割草特別、フィリーズレビュー-JPN2 2着、エルフィンS-OP 2着  
 レオプレシャス: 2勝、<sup>現</sup>  
**ホクトフィーバス**: 8勝、福島民報杯-OP、青函S-OP、卯月S-OP、オータムスプリントS-OP、スワンS-JPN2 4着、スプリンターズS-JPN1 5着  
 ホクトフロンティア: 1勝、新潟<sup>現</sup>1勝  
 曾祖母ホクトヒショウは2勝、洞爺湖特別。産駒  
**ホクトヘリオス**: 6勝、中山記念-JPN2、京成杯3歳S-JPN2、東京新聞杯-JPN3、同2着、函館3歳S-JPN3、京王杯オータムH-JPN3、朝日杯3歳S-JPN1 2着、マイルチャンピオンシップ-JPN1 2着、同3着、スプリンターズS-JPN2 3着。種牡馬  
**ホクトフィル**: 4勝、月岡特別、朝日杯3歳S-JPN1 3着、セントライト記念-JPN2 3着、NZT4歳S-JPN2 3着  
 ホクトスカット: 3勝、道新スポーツ杯

### 母の父

\*トニービン  
愛国産、伊仏15勝、凱旋門賞-G1(2400m)。本邦チャンピオンサイアー。主な産駒 ジャングルポケット(年度代表馬、ジャパンC-G1、ダービー-JPN1)、エアグルーヴ(年度代表馬、天皇賞・秋-JPN1)、ウイニングチケット(ダービー-JPN1)、ベガ(オックス-JPN1)、サクラチトセオー(天皇賞・秋-JPN1)、オフサイドトラップ(天皇賞・秋-JPN1)、レディバステル(オックス-JPN1)

### CHECK POINT

母ホクトスプライトは3勝しており、その母ホクトビーナスの系統は良績をあげる仔を堅実に輩出していますが、兄よりもバネのある本馬は仕掛けたときの反応が違うはずで、父コンデュイットがブリーダーズカップターフで見せてくれたような追い込みを、日本のターフで披露してくれることを期待します。

